

22 地域特性を生かした都市空間の形成			
主管課名	都市整備部 街づくり事業課		
主管課長名	齊藤 宗	電話番号	042-481-7401
関係課名 (組織順)	産業振興課, 下水道課, 都市計画課, 住宅課, 道路管理課, 交通対策課		
目的	対象	市内全域	
	意図	地域特性を踏まえ、多様な機能が調和し、人々が集い、活気とにぎわい、うるおいとやすらぎがある京王線の地下化を機に、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成するとともに、地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。	
施策の方向			

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(22-1 魅力的な中心市街地の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備について、北側ロータリーの上屋工事を実施するとともに、社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ、「令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部を修正」していくこととし、着実な推進を図った。 鉄道敷地整備について、駐輪場、公園、公共施設等の整備が完了し、中心市街地の活性化に寄与した。 調布駅、国領駅周辺の区画道路等の整備を進め、交通の円滑化、中心市街地の活性化に寄与した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備について、社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ、市の方針を決めた。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019において、調布駅前広場でファンゾーンが展開された。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 都内でも有数の規模をほこる調布駅前広場について、交通結節機能だけでなく、広場空間の充実を図り、まちの魅力発信につなげた。 	
<p>(22-2 駅周辺におけるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各駅周辺のまちづくりを進めるため、つつじヶ丘駅南側の都市計画道路(調布3・4・21)用地の取得を行うとともに、飛田給駅西側の踏切拡幅に伴う、接続道路の整備を実施して、交通環境の改善に寄与した。 柴崎駅周辺では、歩行者の安全性確保のため、歩行空間の明示等を実施した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019開会までに、飛田給駅西側の踏切拡幅及び接続道路整備を完了させ、歩行者の安全性が向上した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内各駅周辺の利便性向上を図り、まちの魅力発信につなげた。 	
<p>(22-3 深大寺地区におけるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区にふさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに、平成24年11月に策定した深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど魅力向上に取り組んだ。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 深大寺周辺の整備を進め、国宝に指定された深大寺白鳳仏を中心に積極的に魅力発信した。 	
<p>< 令和元年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備について、社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ、「令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部を修正する」市の方針を決め、早期完成に向け着実に推進した。 鉄道敷地整備について、駐輪場、公園、公共施設等の整備が完了し、残る緑道整備に向け用地取得を進め、中心市街地活性化に寄与した。 街なみ環境整備事業として、令和4年度以降に予定している市道北138号線（参道）、市道北137号線（寺前通り）ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け、課題等の整理を行うとともに、都市計画公園神代公園に指定されている当該地区の目指すまちづくりの課題を整理し、東京都と意見交換を行った。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合【☆，◎】	67.8 (H30)	%	67.1	80.0
2	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合【☆，◎】	67.0 (H30)	%	69.7	80.0
3	深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合【☆，◎】	89.0 (H30)	%	89.6	90.0
【備考】					

2 令和元年度の振り返り — 評価 (CHECK)

総合評価	A	S：「顕著な取組成果が得られた。計画以上に目標を達成した。」 A：「予定した取組成果が得られた。計画どおりに目標を達成した。」 B：「一定程度の取組成果が得られた。概ね計画どおりに目標を達成した。」 C：「予定した取組成果が得られなかった。目標達成にはやや至らなかった。」 D：「取組成果が得られなかった。目標達成までには至らなかった。」
理由	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり，鉄道敷地，駅前広場，道路等の用地取得を進めるとともに，調布駅前広場の北側ロータリーの上屋工事や，調布区画道路9号等の道路整備を行い交通開放することで，交通の円滑化，まちの活性化を図れたため。 	

3 施策の方向 — (ACTION)

区分	今後の取組の方向 ★：重点プロジェクトに関連する取組，●：新規の取組，○：拡充の検討を要する取組
令和2年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ★調布駅前広場整備について，用地取得した箇所の一時的な開放を行うとともに，昨年度決めた方針に則り，早急に南側ロータリー形状を決め，その他機能についても計画を固めていく。 ★鉄道敷地整備について，引き続き，計画通りの用地取得を行うとともに，令和4年度からの緑道整備に向け，市民参加を実践しながら設計を進めていく。 ★調布駅北の再開発関連道路整備として行っている，都市計画道路(調布7・5・1)の用地取得を完了させ，道路整備を進める。 ★つつじヶ丘駅南側の都市計画道路(調布3・4・21)や中心市街地の区画道路の用地取得を進め，準備が出来次第，道路築造を行い交通開放していく。 ●東部地区の抜本的な交通環境改善に向け，京王電鉄(株)等関係機関と連携し検討を始めるとともに，地元まちづくりの機運醸成を図っていく。 ★深大寺地区におけるまちづくりの推進の街なみ環境整備事業として，令和4年度以降に予定している市道北138号線(参道)，市道北137号線(寺前通り)ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け測量等を実施するとともに，深大寺地区街なみ環境整備事業区域内に3箇所の案内板等の整備工事を実施する。
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応	
東京2020大会開催延期に伴う対応	★調布駅前広場の北側整備は1年延期となるが，全体の完成は令和7年度で変わらない。
台風への対応を踏まえた災害対応	★深大寺地区におけるまちづくりの推進 深大寺周辺は水と緑が豊かな自然環境に囲まれており，湧水・水路等のほか多くの古木を含む樹木が現存していることから，事業実施に当たっては，これらと調和しつつ安全性や快適性，景観に配慮したものとする。
令和3年度以降の計画期間内の取組 (令和2年度から継続する取組を除く)	○東部地区の抜本的な交通環境改善に向け京王電鉄(株)のみならず，国・東京都等関係機関との連携を深めるとともに，地元まちづくりの推進を図る。

2.2 地域特性を生かした都市空間の形成

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	駅前広場の整備	④	●	街づくり事業課	京王線連続立体交差事業により地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させる。 調布・布田・国領3駅の各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間の有効活用と併せて、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備する。
2	鉄道敷地の整備	④	●	街づくり事業課	京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、調布・布田・国領3駅の駅前広場整備と併せ、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組む。
3	面的整備手法を活用したまちづくりの促進		●	街づくり事業課	調布駅周辺において、魅力的な中心市街地を形成するため、地区計画や市街地再開発事業などの面的整備手法を活用し、調和のとれた商業、業務、住宅施設等の立地誘導を図り、駅前拠点にふさわしい市街地形成を図る。
4	中心市街地における区画道路等の整備	④		街づくり事業課	京王線連続立体交差事業による効果を最大限発現するため、駅前広場や鉄道敷地の整備と併せ、周辺の区画道路や生活道路等を整備し、安全で快適な道路ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性の向上を図る。
5	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり		●	都市計画課	柴崎駅周辺については、駅周辺における利便性や安全性の確保など、交通環境の改善に向け、都市計画道路の整備など、まちの将来像を見据えた中・長期的な視点から、住民参加によるまちづくりを進める。 つつじヶ丘駅周辺については、都市計画道路や自転車等駐車場の整備を含めた総合的な視点からまちづくりを進める。 西調布駅周辺については、快適な市街地整備に向け、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりを進める。
6	深大寺地区におけるまちづくりの推進	⑤	●	都市計画課	深大寺地区は、「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づいて設定された深大寺通り街づくり協議会が、調布市初となる街づくり協定である「深大寺通り周辺地区街づくり協定」を締結するなど、活発な街づくり活動が行われている地域である。 地区の緑の保全方策や都市計画道路（調布3・4・30号線）の在り方等について検討を進める。 調布市深大寺地区街なみ整備基本計画（平成24年度策定）に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、深大寺地区の魅力向上に取り組む。

2.2 地域特性を生かした都市空間の形成

※各事務事業の概要については、巻末の「(ア)事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1 決算事業費(千円)	令和元年度の取組実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向性							今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に◆印を記載しています)	
								R1 取組実績			方向性					
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善		改善余地なし
1	駅前広場の整備	④	●	街づくり事業課	756,111	調布駅前広場北側ロータリーについては、ロータリーの形状、上屋が完成し、歩行者やバス利用者の利便性向上を図った。 南側ロータリーについては、社会情勢の変化や広範な市民の声を踏まえ「令和7年度完成を前提に、南側のロータリーの一部を修正」していく方針を決定した。	○	●					●		調布駅前広場の北側ロータリーについては、平成28年度より段階的に整備を進めており、令和元年度にロータリー形状及び上屋が完成した。今後は、東京2020大会後にロータリー内の交通量や車道部・歩道部の舗装整備などを実施する。 南側ロータリー及び広場空間については、令和2年度に南側ロータリーの形状を決定し、市民参加を実践しながら、駅前広場の設えを含めた最終案を決定する。	
2	鉄道敷地の整備	④	●	街づくり事業課	601,577	調布・布田・国領の3駅をつなぐ鉄道敷地の整備に取り組みに当たり、令和元年度は調布駅から鶴川街道間の予備設計を実施した。 また、布田駅から国領駅間の鉄道敷地の用地取得後、暫定整備を実施し、歩行者・自転車利用者等の利便性向上を図った。	○	●					●		京王線連続立体交差事業により生み出された鉄道敷地について、調布・布田・国領3駅の駅前広場と連続した貴重な都市空間として有効に活用していくため、にぎわい、うるおい、やすらぎのある都市空間とすることを踏まえ、計画的な整備に取り組んでいく。 また、「鉄道敷地利用計画図」に基づき、整備区間ごとに、説明会等の市民参加を交えながら、計画的な用地取得と併せて、具体的な設計、整備を進めていく。 令和2年度は、調布駅から鶴川街道間について、市民参加を実践し、具体的な整備の方向性を決定する。	
3	面的整備手法を活用したまちづくりの促進		●	街づくり事業課	736,570	調布駅周辺の市街地再開発事業に関連する道路整備として、平成29年度から調布7・5・1号線の整備を進めているところであり、令和元年度は用地取得を行い、事業全体の用地取得が完了した。また、市道南20号線の歩道暫定整備を行うことで、回遊性を向上させた。 また、平成29年度から基礎調査を実施している調布駅南口中央地区について、令和元年度は、引き続き、事業化検討調査を実施した。	○	●					●		調布都市計画道路7・5・1号線(都道119号)と市道南20号線の用地取得及び整備等について、計画的に取組を進めていくとともに、回遊性向上につなげていく。	
4	中心市街地における区画道路等の整備	④		街づくり事業課	103,098	調布区画道路9号、国領歩行者専用道路1号等の整備を実施したことで、歩行者等の安全性を確保するとともに回遊性の向上を図った。 また、調布区画道路12号の用地取得を行い、事業推進を図った。	○	●					●		京王線連続立体交差事業を契機とした、駅前広場、鉄道敷地及び都市計画道路の整備効果を最大限に発揮できるよう、今後も引き続き、計画的に区画道路等の整備を進めることで、安全で快適な歩行者ネットワークを形成し、中心市街地における回遊性の向上につなげていく。 令和2年度は、国領歩行者専用道路2号及び調布区画道路12号の整備を実施する。	
5	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり		●	都市計画課	0	つつし丘駅及び柴崎駅周辺地区については、上位計画を踏まえ、両駅周辺の地域住民のまちづくりの機運醸成を図り、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に向け、地域のまちづくりにおける現状と課題を整理するとともに、まちづくりの方向性の検討を行った。	○	●					●		つつし丘駅・柴崎駅周辺地区(東部地区)においては、開かずの踏切が存在していることや、清水築道橋における安全対策、神代出張所移転など、地域の課題解決に向けて取り組む必要が高まっていることから、引き続き地元の街づくり準備会や商店会と連携し、地元街づくりの機運を高めながら、地域のまちづくりの取組を進めるなかで、交通環境の抜本的改善の検討について進めていく。 西調布駅周辺については、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりの検討を進める。	
6	深大寺地区におけるまちづくりの推進	⑤	●	都市計画課	0	調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づく良好な街なみ景観の維持・向上を目的とした街なみ環境整備事業として、令和4年度以降に予定している市道北138号線(参道)、市道北137号線(寺前通り)ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け、課題整理を行い、事業の推進につなげた。	◎	●				●	●		深大寺地区にらさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに、深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、地域と連携しながら、深大寺地区の魅力向上に取り組む。 併せて、深大寺周辺の整備に併せた交通環境整備については、街なみ景観などの魅力向上と連携した計画の検討を行う。	
								0	6	0	0	0	1	4	2	計
								0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	33.3	割合(%)

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「(イ)事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。